

2022年度（令和4年度）緑が丘小学校 学校評価書

1 教育目標（目指す児童像含む）

（1）基本目標

実践を通して、自ら学び続ける力を身につけながら、心豊かにたくましく生きていく児童の育成

（2）具体目標（具体的な児童生徒像など）

【合言葉】 みどりの子 明るく やさしく 根気よく

「自分をつくり自立する子（生きる力）」

- ・ 友達をつくり力を合わせる子（社会性）
- ・ 豊かな心をつくる子（感受性・主体性）
- ・ 丈夫な体をつくる子（意欲・気力・体力）
- ・ 確かな考えをつくる子（課題解決力）

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

誰もが生き生きとかがやく学校

- ◇ 子供一人一人が認められ、夢や目標に向かって意欲的に学ぶ学校
- ◇ 教職員がそれぞれの専門性を発揮し、協働できる学校
- ◇ 家庭や地域とのつながり(情報共有)を大切にし、保護者や地域住民から信頼される学校

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

豊かなかかわりを通して、共に学び、生き生きとかがやく学校

○豊かななかかわりとは(a)

子供一人一人のよさが生かせ、かかわったことでさらに学びが深まる

- ・ 子供同士、教職員、家族、地域の方々（人）
- ・ 各教科や学校行事などカリキュラムマネジメント（教育課程）
- ・ 豊かにする場の工夫（交流（授業、図書、ボランティア活動、異学年））（場）
- ・ 地域の教育資源等の効果的な活用

○共に学びとは(b)

自他のよさを生かし他と協働しながらよりよい社会を創造していく

○生き生きとかがやくとは(c)

- ・ 子供が自分の変容を実感する（例：頑張れるようになった自分を知る）
- ・ 子供の達成感や成就感を実感する
- ・ それぞれの立場から役割分担をしながら推進する

教職員：新学習指導要領における学力の向上 自己肯定感の育成

家族：基本的な生活習慣の育成 安心した自己を表出できる場

地域：社会との架け橋 子供一人一人のよさを生かしかわったことでさらに学びが深まる。

陽南地域学校園教育ビジョン]

地域に根ざした豊かな心をはぐくむ小中一貫教育 ～子供の自主的な活動を通して～

4 教育課程編成の方針

- ① 新学習指導要領の趣旨を理解し、「主体的・対話的で深い学び」のある教育を実現する。(b, c)
 - ・ 児童の問題意識の重視、互いのよさが生きる場の設定、自分の学びを確認する時間
- ② 学年・教科等のカリキュラムマネジメントにより、教育活動相互の関連や地域の教育資源の活用を充実する。(a)
 - ・ 教科関連の見直し、年計の改善
- ③ 児童や学校経営に関する各種調査結果をもとに、より実態に即した創意ある教育課程の改善を行う。(b, c)
 - ・ 学校行事等各種教育活動における目標の確認と具現化の工夫
- ④ 児童一人一人のよさが生きる豊かなかかわりを充実させるため、多様な集団による教育活動を工夫する。(a)
 - ・ 豊かなかかわりの確認と、新たなかわりの工夫

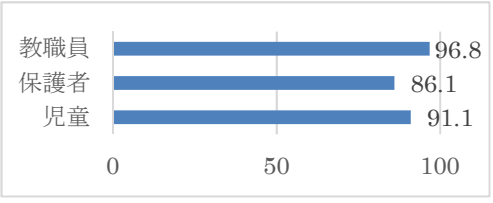
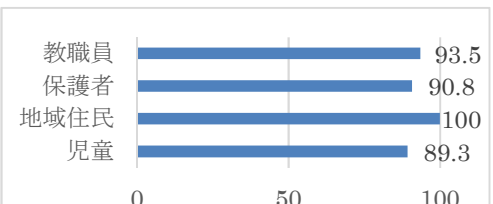
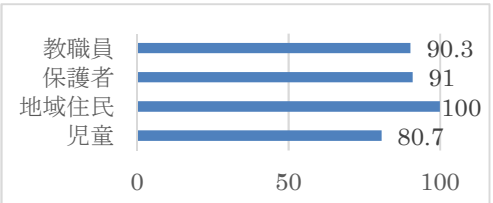
5 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

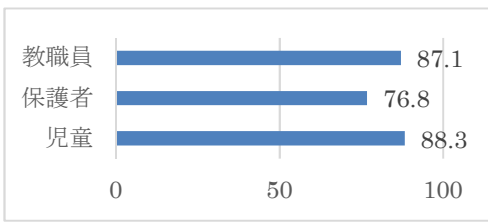
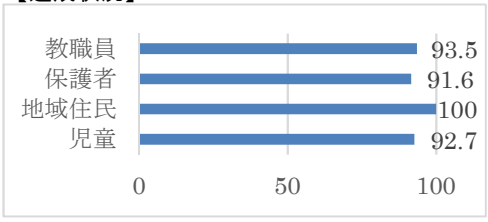
- (1) 学校運営
 - 学ぶ楽しさと、居場所のある学校
- (2) 学習指導
 - 学び合い、ともに育つ ～主体的・対話的で深い学びのある授業を通して～
- (3) 児童生徒指導
 - 集団生活の中で決まりを守り、思いやりの心をもって協力して活動できる児童の育成
～ルールやマナーを守り、自他を認め合い、主体的に行動できる児童の育成～
- (4) 健康（体力・保健・食・安全）
 - ・ 進んで体力向上に努め、健康・安全に生活しようとする児童の育成

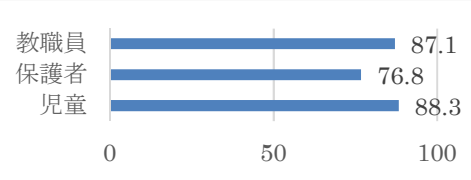
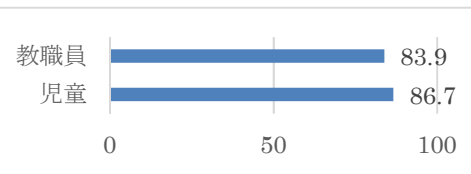
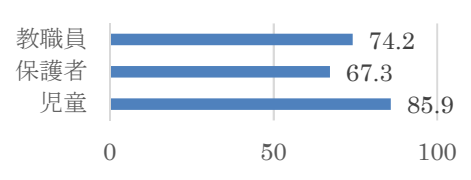
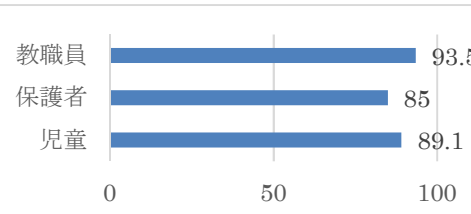
6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

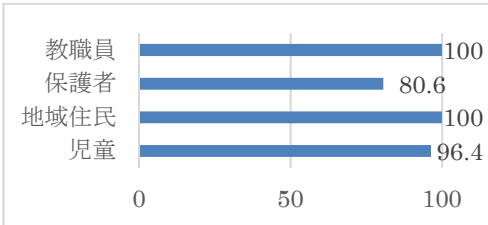
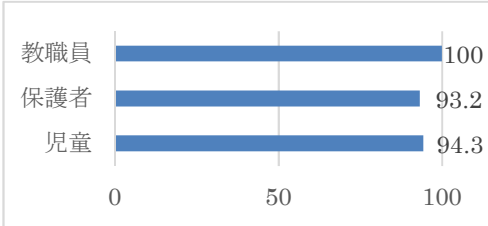
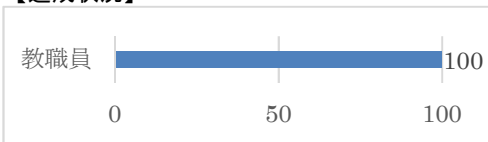
※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

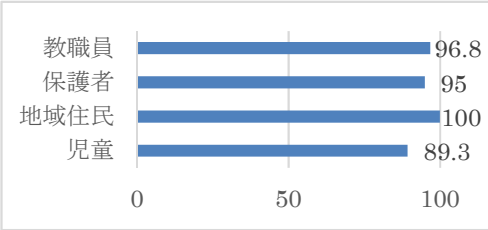
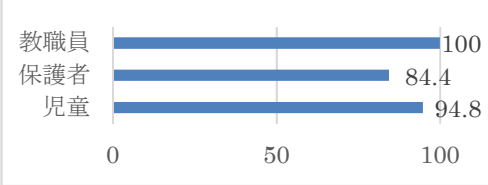
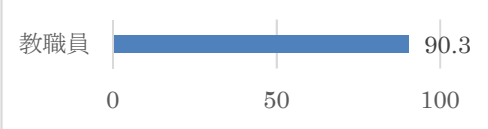
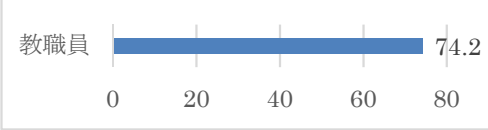
項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
目指す児童の姿	A 1 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】全体アンケート 「児童は、授業中、話をしっかりと聞いたり、発表したりするなど、進んで学習に取り組んでいる。」 ⇒児童・教職員・保護者の肯定的回答 80%以上	① 基本的な学習習慣を定着させるために、学習用品の準備、話の聞き方、発表の仕方を指導し定着に努める。 ② 国語科や特別活動の話合い活動の実践を他の教科等にも生かして、主体的に話合い活動を実践する力の育成を図る。 ③ 学習に進んで取り組む意欲を高めるために、学習の始めには学習のめあてを設定し、見通しをもって学習に取り組み、振り返りの時間を設け自己の学びの確認をする。また、1人1台端末を積極的に活用し、進んで学習に取り組めるようにする。		【達成状況】  対象において、肯定回答は指標を達成した。 【次年度の方針】 引き続き、まとめ・振り返りの時間を設け、自己の学びの確認につながるような授業の工夫をするとともに、1人1台端末を積極的に活用し、進んで学習に取り組めるようにする。
	A 2 児童は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】全体アンケート 「児童は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している。」 ⇒児童・教職員・保護者・地域住民の肯定的回答 80%以上	① 思いやりの心を育むために、「さん」と呼ぶことを徹底するとともに道徳教育・人権教育を充実させ、意図的・計画的な指導の実践を図る。 ② 学校行事等の関連を図った指導の展開を行う。 ③ 相手の気持ちを考えた言葉遣いができる児童の育成を目指し、教師の率先垂範による好ましい言語環境の構築を図る。 ④ 思いやりの心や協力しようとする態度を育むために、各種縦割り班活動の充実を図る。		【達成状況】  対象において、肯定回答は指標を達成した。地域住民においては、100%である。 【次年度の方針】 相手を思いやれる心を育てるために「さん」と呼ぶように指導を徹底する。教師が児童の見本となっていけるようにする。
	A 3 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】全体アンケート 「児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。」 ⇒児童・教職員・保護者・地域	① 基本的生活習慣を身に付けようとする意識を高めるために、「緑が丘小生活のきまり」を各学級に掲示し、重点目標について繰り返し指導する。 ② 児童指導主任が中心となり、児童の実態に合わせた生活目標を設定したり、季節や行事に合わせた生活目標を設定したりして全教職員で重点的に指導に当た		【達成状況】 

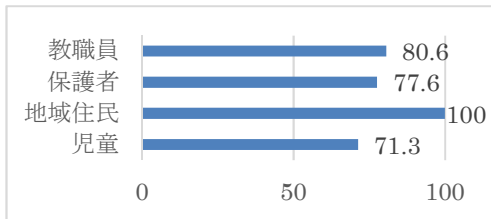
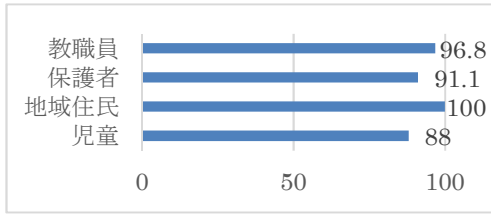
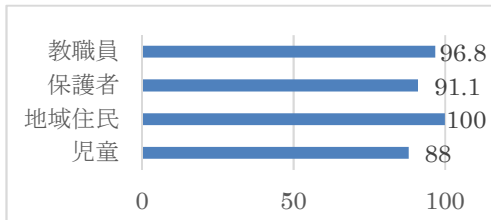
住民の肯定的回答 80%以上	る。	対象において、肯定回答は指標を達成した。 地域住民においては、100%である。								
A 4 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】全体アンケート 「児童は、時と場に応じたあいさつをしている。」 ⇒児童・教職員・保護者・地域住民の肯定的回答 80%以上	① 代表委員会の計画であいさつ運動強化週間を実施したり、あいさつ標語を掲示したりするなど、児童の主体的な活動によるあいさつの励行に努める。 ② 陽南中学校地域学校園や、緑が丘小学校魅力ある学校づくり地域協議会との連携を図り、保護者、地域と連携協力したあいさつ運動を実施する。 ③ 低学年では、積極的に元気にあいさつするよう指導し、高学年では状況に合わせて会釈を活用していくなど工夫したあいさつができるようにする。	【次年度の方針】 児童が主体となってきまりを守ろうとする意欲を高めるために、生活目標を設定する際に代表委員会などと連携する。								
A 5 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】全体アンケート 「私は、夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 ⇒児童・教職員・保護者の肯定的回答 80%以上	① やる気と自己有用感に満ちた児童を育成するために、児童の内面を共感的に受け止め一人一人を大切にする。 ② 児童が集団の中で自分を発揮し、他と協同する体験や、競い合い高め合う体験を重ね一人一人と望ましい集団を育てる。 ④ キャリアパスポートを活用し、本人の目標や取組を認め伸ばす指導により自尊感情、自己肯定感を高め、その様子を家庭に知らせるようにする。 ④ 児童相互に認め合う場の設定を図る。 ⑤ 挑戦意欲を喚起する課題の設定を図る。	【達成状況】  <table><tr><td>教職員</td><td>87.1</td></tr><tr><td>保護者</td><td>76.8</td></tr><tr><td>児童</td><td>88.3</td></tr></table> 教職員、児童の肯定回答は指標を達成しているが、保護者は3.2ポイント指標を下回る。 【次年度の方針】 キャリアパスポート等を活用し、児童が粘り強く取り組んでいる様子を学年だよりや学級懇談会などで保護者に伝える。	教職員	87.1	保護者	76.8	児童	88.3		
教職員	87.1									
保護者	76.8									
児童	88.3									
A 6 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】全体アンケート 「児童は、健康や安全に気を付けて生活している。」 ⇒児童・教職員・保護者・地域住民の肯定的回答 80%以上	① 給食時の身支度指導、歯みがきや保健委員会の取組など、学校生活の中の様々な保健指導を通して、基本的な生活習慣を身に付け、衛生的・健康的な生活ができるよう指導する ② 安全な生活を送るため、各教科等における安全に関する指導の充実を図り、ルールやマナーの指導を徹底し、怪我や事故の未然防止に努める。 ③ 手洗い・消毒・換気・などを継続的に指導し、体調管理に努める。	【達成状況】  <table><tr><td>教職員</td><td>93.5</td></tr><tr><td>保護者</td><td>91.6</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100</td></tr><tr><td>児童</td><td>92.7</td></tr></table> 全ての対象において、肯定回答は指標を達成した。 【次年度の方針】 コロナウイルス感染症に限らず、体調管理に努めるため、消毒や手洗いうがいを継続的に指導していく。好き嫌いせずに給食を食べるなど健康的に食事ができる給食指導も養護教諭、学校栄養職員と連携し健康教育を推進する。	教職員	93.5	保護者	91.6	地域住民	100	児童	92.7
教職員	93.5									
保護者	91.6									
地域住民	100									
児童	92.7									

A 7 児童は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。 【数値指標】全体アンケート 「私は、夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 ⇒児童・教職員・保護者の肯定的回答 80%以上	① 望ましい勤労観・職業観の形成を図るために「宮・未来キャリア教育」の充実を図り、年間指導計画に基づいた意図的・計画的な指導の展開を行う。 ② 地域の人材を活用したキャリア教育や自己有用感を高める道德等を実施し望ましい勤労観・職業観の形成や夢や目標をもつ参考にする。 ③ キャリアパスポートを利用しながら、教師から児童への積極的な声掛けを行い、目標に向けた取組を、意図的・計画的・継続的に行うようにする。	【達成状況】  <table><tr><td>教職員</td><td>87.1</td></tr><tr><td>保護者</td><td>76.8</td></tr><tr><td>児童</td><td>88.3</td></tr></table> 教職員と児童において、肯定回答は指標を達成したが、保護者においては指標を 3.2 ポイント下回った。 【次年度の方針】 引き続き自己有用感を高めるために、キャリアパスポート等を有効的に活用するとともに、振り返りの時間をもち、自己の夢や目標に向かって努力できるようにする。	教職員	87.1	保護者	76.8	児童	88.3
教職員	87.1							
保護者	76.8							
児童	88.3							
A 8 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】全体アンケート 「児童は、外国語活動の授業や ALT との交流の際に、英語を使ってコミュニケーションしている。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答 80%以上	① 教材研究の工夫やALTとの連携により、英語のみでの学習時間を設定するなど、英語によるやりとりを中心とした授業実践の推進を図る。 ② 学校行事等へのALTの参加やALTとの交流の場の工夫を行い、生きた英語に触れる機会の充実を図る。 ③ 教材等、備品の管理や校内掲示の工夫を行い、外国語活動に向けた環境整備の推進を図る。	【達成状況】  <table><tr><td>教職員</td><td>83.9</td></tr><tr><td>児童</td><td>86.7</td></tr></table> 対象において、肯定回答は指標を達成した。 【次年度の方針】 学年や発達段階に応じた英語表現にできるだけ慣れ親しめるように工夫する。	教職員	83.9	児童	86.7		
教職員	83.9							
児童	86.7							
A 9 児童は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】全体アンケート 「私は、宇都宮の良さを知っている。」 ⇒児童・教職員・保護者の肯定的回答 80%以上	① 生活科・社会科・総合的な学習の時間・道徳等の学習において、地域や郷土に関連付けた課題の設定を行う。 ② 特別活動（学校行事等）・校外学習における体験的な学習の場の設定を行い、保護者にもその様子を発信し、児童が郷土宇都宮に対する理解を深められるよう、発達段階に応じて郷土に関する学習を推進する。 ③ 宇都宮学の学習を通して、宇都宮の良さについて学習する。	【達成状況】  <table><tr><td>教職員</td><td>74.2</td></tr><tr><td>保護者</td><td>67.3</td></tr><tr><td>児童</td><td>85.9</td></tr></table> 児童は、指標を達成したが、教職員では 5.8 ポイント、保護者では 12.7 ポイント指標を下回っている。 【次年度の方針】 引き続き、校外学習における体験的な学習の場の設定を行い、保護者にもその様子を発信し、宇都宮の良さを各家庭で話題にしてもらえるようにする。また、宇都宮学を他教科でも活用し、幅広く宇都宮のよさを実感できるようにする。	教職員	74.2	保護者	67.3	児童	85.9
教職員	74.2							
保護者	67.3							
児童	85.9							
A10 児童は、ICT機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】全体アンケート 「児童は、パソコンや図書等を学習に活用している。」 ⇒児童・教職員・保護者の肯定的回答 80%以上	① 授業における実践を通して、情報モラル教育を行う。 ② ICT機器の効果的な活用や、ICT機器を使ってまとめたり伝えたりする活動を行い、情報活用能力の育成を図る。 ③ 朝の全校読書を充実させるとともに、図書資料を有効に活用した学びを充実させるために、学習ニーズの把握に基づいた関連図書情報の提供や市立図書館と連携した授業実践を図り、学校図書館の整備を推進する。	【達成状況】  <table><tr><td>教職員</td><td>93.5</td></tr><tr><td>保護者</td><td>85</td></tr><tr><td>児童</td><td>89.1</td></tr></table> 対象において、肯定回答は指標を達成した。 【次年度の方針】 引き続き情報モラルについて、発達段階に	教職員	93.5	保護者	85	児童	89.1
教職員	93.5							
保護者	85							
児童	89.1							

		応じて指導を行う。 水曜日の朝の時間を読書タイムとして、全校で読書を行う。また、朝の活動にA Iドリルも有効活用する。								
A11 児童は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。 【数値指標】全体アンケート 「児童は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している。」 ⇒児童・教職員・保護者・地域住民の肯定的回答 80%以上	① 高齢者への感謝や敬う心を育むために、交流会・感謝の会などの学校行事等への案内・招待を積極的に行う。 ② 生活科における昔遊び体験における交流活動の推進を図り、高齢者と触れ合う機会の充実に努める。 ③ 考え、議論する道徳（宮っ子心の教育）の充実に努め、思いやりの心を育む。	【達成状況】 <table><tr><td>教職員</td><td>93.5</td></tr><tr><td>保護者</td><td>90.8</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100</td></tr><tr><td>児童</td><td>89.3</td></tr></table> 対象において、肯定回答は指標を達成した。地域住民においては、100%である。 【次年度の方針】 コロナウイルス感染症対策を講じながら高齢者と触れ合える機会の充実に努め、高齢者への感謝やいたわりの心を育成していく。	教職員	93.5	保護者	90.8	地域住民	100	児童	89.3
教職員	93.5									
保護者	90.8									
地域住民	100									
児童	89.3									
A12 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】全体アンケート 「児童は、環境問題や防災等の『持続可能な社会』について、関心をもっている。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答 80%以上	① 社会科・理科・生活科・総合的な学習の時間・家庭科・特別活動における活動において「持続可能な社会」と関連付ける学習活動の見直しや児童の実態に応じた具体的な活動内容の検討を行い年間指導計画を作成する。 ② 委員会主導で「持続可能な社会」(SDGs)に対する児童の関心を高め、ごみの分別・残菜を減らす取り組み・節電・節水などに対して意識を高め実践する。 ③ なぜ「持続可能な社会」(SDGs)への取組を行わなくてはならないのか動機をもたせ取り組ませるようにする。	【達成状況】 <table><tr><td>教職員</td><td>61.3</td></tr><tr><td>児童</td><td>87.8</td></tr></table> 児童において、肯定回答は指標を達成したが、教職員においては指標を 18.7 ポイント下回った。 【次年度の方針】 みどりっ子集会などで、環境委員会によるSDGsに関連した内容の発表を行うようにする。	教職員	61.3	児童	87.8				
教職員	61.3									
児童	87.8									
B1 児童は、体力づくりに関心をもち、進んで体力の向上に励んでいる。 【数値指標】児童・教職員アンケート 「自分は、運動集会や、検定するとき、目標に向かって努力している。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答 80%以上	① 各種検定カードの効果的な活用を図り、自分のめあてに向けた体力づくりの推進に取り組むとともに家庭でも取り組んでいけるよう呼び掛けていく。 ② 「うつのみや元気っ子健康体力チェック」の結果分析を生かし、年間を通した体力向上に取り組む。	B 【達成状況】 <table><tr><td>教職員</td><td>100</td></tr><tr><td>児童</td><td>90.1</td></tr></table> 対象において、肯定回答は指標を達成した。教職員においては、100%である。 【次年度の方針】 運動集会については、状況を見て判断し、実施する。各種検定カードを学級で活用し、自分の活動の振り返りをできるようにしていく。 また、基礎的な体力づくりや体の使い方の指導を体育の授業の導入で取り入れるようにし、体力づくりを図る。	教職員	100	児童	90.1				
教職員	100									
児童	90.1									
A13 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】全体アンケート 「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童等	① おはなしタイム（教育相談）や保護者との懇談を通じた児童理解の推進を図る。 ② 校内支援委員会やケース会議を活用して、指導目標・指導の手立て等の検討を行い、組織的指導の充実に努める。(会議の内容を全職員で共有していく)	【達成状況】 <table><tr><td>教職員</td><td>100</td></tr></table> 肯定回答は指標を達成し、100%である。	教職員	100						
教職員	100									

目 指 す 学 校 の 姿	の実態に応じて、適切な支援をしている。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	③ 困り感を抱えた児童が自信をもって生活できるよう、かがやきルームにおける指導の充実を図る。 ④ 個別支援計画の作成を行う。	【次年度の方針】 ケース会議等を形骸化させないように、児童がもっている問題点に対して具体的に支援ができるように「いつ」「誰が」「どのような目的」はっきりしていく。 継続的に支援していくため不登校面、学習指導面、児童指導面などで、中心となる教職員を決め、指導にあたるようにする。
	A 14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】全体アンケート 「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる。」 ⇒児童・教職員・保護者・地域住民の肯定的回答 80%以上	① 学年・学級懇談会や学校だより、HP 等で積極的に学校の方針を説明・公表するとともに、保護者や地域といじめに関する情報交換に努める。 ② 「いじめは絶対に許さない」、「いじめには大人が介入する」を全教職員で認識し、児童の主体的な取組（いじめゼロ集会）も促しながら、未然防止、早期発見・早期解決に組織的に取り組む。 ③ 「いじめゼロ集会」の実施を行い、いじめゼロ強調月間の取組の充実を図る。 ④ おはなしタイム（教育相談）、Q-U 検査等を活用した実態把握の工夫や年 4 回のいじめアンケートの実施と結果の効果的な活用を図る。	【達成状況】  対象において、肯定回答は指標を達成した。教職員と地域住民においては、100%である。 【次年度の方針】 いじめの早期発見に努め早期解決ができるよう組織的に取り組んでいく。また、いじめ防止活動について、HP や学年便り、学級懇談会などで情報を発信していく。
	A 15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】全体アンケート 「先生方は、一人一人を大切にし、児童がともに認め励まし合うクラスをつくってくれている。」 ⇒児童・教職員・保護者の肯定的回答 80%以上	① 学年・学級経営計画に基づいた意図的・計画的な指導や教師と児童の協働・共遊を通して、居心地がよく、明るく活力に満ちた学級風土づくりを推進する。 ② おはなしタイム（教育相談）・Q-U 検査の結果やスクールカウンセラーの効果的な活用に努め、児童の内面を共感的に受け止め児童一人一人を大切にする。 ③ 日々の様子の記録等を活用した情報共有を推進し、対策委員会での共通理解に基づいた組織的・計画的な支援を推進する。 ④ 家庭訪問や別室登校支援等、児童の実態に応じた支援策の工夫に努める。	【達成状況】  対象において、肯定回答は指標を達成した。教職員においては、100%である。 【次年度の方針】 不登校傾向のある児童が登校できたときには、誰がどこで何をするのかの共通理解を図り、担任だけでなく、組織的に対応していく
	A 16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】全体アンケート 「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童等の実態に応じて、適切な支援をしている。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	① 充実した学校生活が送れるよう、実態把握に基づいた教育課程や支援計画を作成し、適切な指導・支援を推進する。 ② 効果的な支援に向け、1 人 1 台端末を有効に活用するとともに、日本語指導講師・関係機関との積極的な連携を図る。	【達成状況】  肯定回答は指標を達成し、100%である。 【次年度の方針】 関係機関と連携しながら、児童や保護者のニーズに合った支援を推進していく。1 人 1 台端末を活用し、よりよい学習を展開していく。
	A 17 学校は、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。 【数値指標】全体アンケート	① 児童の学習意欲を高める授業を工夫する。ペア学習・教材の工夫・めあての提示・ICT 機器（特に 1 人 1 台端末）を使った学習などを工夫し、児童の考え	【達成状況】

「私は、今の学校が好きです。」 ⇒児童・教職員・保護者・地域住民の肯定的回答 80%以上	を共有したり、広げたり深めたりする学習を行い、わかる授業を展開し、一人一人に学びのある授業を行う。 ② 学級活動や縦割り班活動、みどりタイム等で、話し合い活動を意図的に取り入れ、児童の主体的な活動を推進し、豊かな人間関係を構築する力を育てる。	 対象において、肯定回答は指標を達成した。地域住民においては、100%である。 【次年度の方針】 引き続き、話し合い活動を意図的に取り入れ、児童の主体性やコミュニケーション能力を育み、豊かな人間関係を構築する。
A18 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】全体アンケート 「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる。」 ⇒児童・教職員・保護者の肯定的回答 80%以上	① 自己研鑽や学年共同での授業研究等を積極的に行い、児童一人一人が意欲をもって取り組める授業の工夫に心がけ、学力向上に努める。 ② スキルタイム(朝の学習)を充実させるとともに、家庭学習について「家庭学習のヒント集」(陽南地域学校園)を活用し、具体的な指導・支援を行うことにより、基礎・基本の確実な定着を図る。 ③ T・Tによる学習や少人数による習熟度別学習を充実させるとともに、特別支援教育の考え方を生かした指導を行うことで、個に応じた指導の充実を図る。 ④ ICT(特に1人1台端末)を効果的に取り入れ、個に応じた指導ができるようにする。	【達成状況】  対象において、肯定回答は指標を達成した。教職員においては、100%である。 【次年度の方針】 朝の学習等でも、個別学習を取り入れながら、個に応じた指導の充実を図る。
A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】全体アンケート 「学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	① 管理職(副校長)による総合的な連絡調整の実施に努める。 ② 業務担当教職員との綿密な打ち合わせの実施を図る。 ③ 各スタッフによる関係教職員への積極的な情報提供の推進に努め、連携を密にし、チームとして組織的に対応する。 ④ 校内支援委員会等の各種委員会に専門性を有するスタッフも組織の一員として位置づけ、積極的な情報提供や意見を反映できるようにしていく。	【達成状況】  肯定回答は指標を達成した。 【次年度の方針】 昨年と比較して34.7ポイントも向上した。学校長のリーダーシップのもと教員相互の連携を密にし、報・連・相を確実にし、チームとして組織的に取り組んでいく。
A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】全体アンケート 「学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	① 事務職員、栄養士、図書嘱託員などの専門スタッフの役割を明確化し、学校業務の見直しを図る。 ② 年間を通して計画的に、多様な専門性を有する学校スタッフ(養護教諭・ALT)の活用を図り、安定した教育活動を進める。 ③ 各部学年担当者を位置づけ、組織的に安定した教育活動を進める。	【達成状況】  指標を下回った。 【次年度の方針】 様々な専門スタッフの役割を明確にし、業務の見直しや改善を行い、業務の効率化に取り組んでいく。長時間勤務に対する職員の意識の変容を図り、業務のスリム化やリフレ

			ッシュデーの徹底などを通して、ワークライフバランスの向上を図るようにする。								
A 21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】全体アンケート 「学校は、小学生や中学生が交流する活動を行っている。」 ⇒児童・教職員・保護者・地域住民の肯定的回答 80%以上	① 地域学校園として、各教科で身に付けさせたい力を年間指導計画に位置付け、教職員が9年間で児童を育てる意識がもてるようにする。 ② 小中一貫教育研修会の各部の話し合いの内容や乗り入れ授業の内容を全体に周知し、共通理解を図る。 ③ 給食だよりや図書館だより等の地域学校園共有発行を推進する。 ④ 小中合同のあいさつ運動や中学校訪問の機会を通して、児童生徒相互の交流を推進する。	B	【達成状況】  <table><tr><td>教職員</td><td>80.6</td></tr><tr><td>保護者</td><td>77.6</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100</td></tr><tr><td>児童</td><td>71.3</td></tr></table> 教職員と地域住民は指標を達成したが、保護者では 2.4 ポイント、児童では 8.7 ポイント下回った。 【次年度の方針】 乗り入れ授業や挨拶運動、各部会の活動を通して、相互理解を図るとともに、児童・生徒の交流を推進し、地域学校園の取組を一層充実させる。	教職員	80.6	保護者	77.6	地域住民	100	児童	71.3
教職員	80.6										
保護者	77.6										
地域住民	100										
児童	71.3										
A 22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。 【数値指標】全体アンケート 「私は、地域や企業の方々と一緒に活動することで学習が充実し、楽しい。」 ⇒児童・教職員・保護者・地域住民の肯定的回答 80%以上	① 多くの教科や活動で学習支援ボランティアの協力を得るため、地域協議会を中心としてボランティアを組織化し学校と地域の連携を図る。地域資源や人材などの教育力を生かした体験型学習の充実を目指す。 ② 緑が丘小地域協議会に学校の情報を提供するとともに、地域協議会の活性化と活動の充実を図る。 ③ まちづくり協議会や地域協議会と連携して、「あいさつ運動」等の活動に取り組む。	B	【達成状況】  <table><tr><td>教職員</td><td>96.8</td></tr><tr><td>保護者</td><td>91.1</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100</td></tr><tr><td>児童</td><td>88</td></tr></table> 対象において、肯定回答は指標を達成した。地域住民においては、100%である。 【次年度の方針】 地域協議会を中心にボランティアの組織化を図り、地域人材の発掘と活用を図っていく。コーディネーターを中心に、授業における学習ボランティアの活用を一層充実させていく。	教職員	96.8	保護者	91.1	地域住民	100	児童	88
教職員	96.8										
保護者	91.1										
地域住民	100										
児童	88										
A 23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい児童の育成に取り組んでいる。 【数値指標】全体アンケート 「私は、地域や企業の方々と一緒に活動することで学習が充実し、楽しい。」 ⇒児童・教職員・保護者・地域住民の肯定的回答 80%以上	① 学校便り、学年便り、保健便り、食育便り、図書館便り等の工夫と定期的発行やホームページでの情報の積極的な発信・提供を行い、家庭・地域・企業等との連携・協力を推進する。 ② 生活科や総合的な学習の時間における体験活動を中心とした交流活動の推進や地域団体・地域人材の積極的な活用を通して、地域と共に歩む魅力ある学校づくりを推進する。	B	【達成状況】  <table><tr><td>教職員</td><td>96.8</td></tr><tr><td>保護者</td><td>91.1</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100</td></tr><tr><td>児童</td><td>88</td></tr></table> 対象において、肯定回答は指標を達成した。地域住民においては、100%である。 【次年度の方針】 学年で定期的にホームページの更新を行い、積極的な情報発信に努めるようにする。生活科や総合的な学習の時間において、体験活動の充実を図るとともに、地域団体の協力を得て、地域に開かれた教育活動を一層充実させていく。	教職員	96.8	保護者	91.1	地域住民	100	児童	88
教職員	96.8										
保護者	91.1										
地域住民	100										
児童	88										
A 24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づく	① 縦割り班清掃活動の児童と教師の協働による日常の清掃活動等を充実させ、環境の美化に努め	B	【達成状況】								

	りに努めている。 【数値指標】全体アンケート 「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」 ⇒教職員・保護者・地域住民の肯定的回答 80%以上	る。 ② 長期休業前の清掃強化週間の有効活用や奉仕活動の充実を図る。 ③ 地域協議会と連携した緑化活動の推進に努める。 ④ 安全点検結果に基づく、修繕補修を迅速に行い、安全な学習環境づくりを推進する。 ⑤ 日常点検、定期点検等の安全点検を実施して、関係職員と連携した計画的な修繕の実施に努める。	対象において、肯定回答は指標を達成した。地域住民においては、100%である。 【次年度の方針】 日常点検や定期点検等の安全点検を確実にし、修繕が必要な箇所については、迅速に対応する。縦割り班による清掃活動を充実させ、環境の整備と美化について取り組んでいく。
	A 25 学校は、学習に必要な I C T 機器や図書等を整えている。 【数値指標】全体アンケート 「児童は、パソコンや図書等を学習に活用している。」 ⇒児童・教職員・保護者の肯定的回答 80%以上	① 情報教育を推進するために、I C T 機器(特に 1 人 1 台端末)を日常的に活用し、文房具として使えるよう、環境整備に努める。情報モラルや学習規律を徹底し、効果的に使用できるようにする。 ② 図書資料を有効に活用した学びを充実させるために、教育課程に即した図書選定を行い、学校図書館の整備を推進する。 ③ 市立図書館と連携した希望図書の有効活用を図る。	【達成状況】 対象において、肯定回答は指標を達成した。 【次年度の方針】 引き続き、1 人 1 台端末の使い方の決まりを守って、学習規律を徹底し使用できるようにする。
	B 2 危機管理対策等を充実させる。 【数値指標】保護者アンケート 「学校は、避難訓練や引き渡し下校を行ったり登下校の見守り等にボランティアを活用したりして、危機管理対策を充実させている。」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	① 登下校の児童の安全については、地域の実情に応じてボランティアや保護者の協力を依頼する。 ② 災害時の児童引き渡しや地震・竜巻・不審者侵入時の行動の仕方を理解させ、訓練で実践化を図り、非常事態時は、適切に判断し行動することで、自分の体は自分で守れるようにする。	【達成状況】 対象において、肯定回答は指標を達成した。教職員においては、100%である。 【次年度の方針】 来年度からは一斉下校指導が少なくなるため、学年下校の際に、重点的に安全への意識を高めさせる。避難訓練については、災害の実態について詳しく理解させ、被害を考えながら自分がとるべき行動などを考えられるようにしていく。
本校の特色・	B 3 豊かな人間関係を育てる場を工夫し、社会性の育成に努めている。 【数値指標】児童・教職員アンケート 「学級活動や縦割り活動で、友達と協力して進んで活動し	① 係活動や当番活動など自主的な活動を通して、学級での人間関係を高める。 ② 特別活動の研究を生かし、児童会活動や縦割り班活動がより児童の主体的な活動となるよう工夫する。 ③ 委員会活動やクラブ活動におい	【達成状況】

課題等	ている。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答 80%以上	て児童による自治的な活動を実 践する。児童の良さを生かして みんなに認められ、自己肯定感 を感じられる場を意図的に設定 する。	対象において、肯定回答は指標を達成した。 教職員においては、100%である。 【次年度の方針】 引き続き、特別活動の研究を充実させ、児童 が主体的に活動できるように導く。
-----	---------------------------------	---	---

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

1 目指す児童の姿	「目指す児童の姿」に関する質問 13 項目中、児童の肯定的回答の全てで数値目標を達成した。13 項目中「時と場に合ったあいさつ」と「宇都宮の良さ」の 2 項目は、市の肯定割合を上回ったが、他の 11 項目は市の肯定割合を下回っている。 「持続可能な社会についての関心」では、児童が 87.8%であったが、教職員は 61.3%であり、26.5 ポイントもの差が開いている。持続可能な社会への取組について共通理解を図り、充実した指導につなげられるようにしていく。
2 目指す学校の姿	「目指す学校の姿」に関する質問 15 項目中 13 項目で数値指標を達成した。その中でも複数の対象において全て 90%を超えた項目は、「特別な支援を必要とする児童への適切な支援」「不登校を生まない学級経営」「外国人児童の実態に応じた適切な支援」「チームとなり協力して業務」「安全に配慮した環境づくり」「危機管理対策」「社会性の育成」の 7 項目であった。 - 数値目標に達していない項目は、「業務の効率化」と「小中一貫教育・地域学校園の取組」であった。業務の効率化は、市の肯定的割合が 82.4%に対し、本校の肯定的割合が 74.2%と 8.2 ポイント下回っていた。引き続き業務時間の効率化を図り、働き方改革を推進していく。

7 学校関係者評価

1 全般的事項	- 全体的に及第点かと思えます。現状の継続とさらに内容の充実を望みます。外部の目を気にしすぎず、自信ある指導を望みます。 - 日々の学校のご尽力に敬意を表する。アンケートで A4 の挨拶の項目がすべてアップしていることに「挨拶運動」の成果を感じ、意識も定着しつつあり、全体の運動になっていることを嬉しく思う。下がった項目が少し多いが、回答の仕方や項目内容の解釈もあるので一概に判断するのはと感じる。大切なのは、常に児童にとって学校がどうあるべきかを皆さんと考えることだと思っている。 - 子供たちの挨拶については、個人差を感じる。学校へ行く機会が増え、校内でも大きい声で言える子、言えない子と分かれている気がする。 - 学校の先生方、地域の方に見守られながら学校に元気に行けている!!と学校行事(PTA など)に参加させていただきながら感謝している。一人でも多く、楽しく元気に緑が丘を盛り上げられるよう協力したいと思う。 - アンケート結果で教員と児童で点数に乖離がある部分が気になる。いじめ対策や不登校対策等は、児童が実感を持たなければ効果が薄くなるのではないかと思う。取り組むこと自体もちろん大切だが、きちんと発信し児童にもその取り組みを実感・理解してもらうことも大事かと考える。 - 評価で、A1～A12 で先生たちの評価がダウンしている要因は分析されていると思いますが、気になった。
2 項目別事項（市の肯定的回答割合を下回っているものを中心に）	[宇都宮の良さを知っている] - 多様な体験活動などを通して、自分の故郷に愛着をもち、守っていこうという心を育てていくことが大切だ。 [持続可能な社会] - 社会科や理科はもとより国語などの教科でも持続可能な社会に向け、自分の問題として理組むようにしてほしい。 [業務の効率化] - 教職員が、児童と接する・関われる時間をしっかり確保できるよう業務の効率化を図ることが大切だ。

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

【学校運営】

- ・教師や友人や地域の人々との豊かな関わりを通して、一人一人が目標をもち、目標に向かって努力を積み重ねることのできる児童を育成していく。
- ・協働的な学びや豊かな体験を通して、友達を思いやる心や親切心、自己肯定感を育むようにする。
- ・学校と家庭と地域が、互いに協力しながら情報を共有し、発信しながら、よりよい児童の育成を図るようにする。

【学習指導】

- ・まとめ・振り返りの時間を設け、自己の学びの確認につながるような授業の工夫をするとともに、1人1台端末を積極的に活用し、進んで学習に取り組めるようにする。
- ・朝の学習等でも個別学習を取り入れ、1人1台端末も効果的に活用し、個に応じた指導ができるようにする。
- ・話し合い活動を意図的に取り入れ、児童の主体性やコミュニケーション能力を育み、豊かな人間関係を構築できるようにする。

【児童生徒指導】

- ・「緑が丘小生活のきまり」の徹底するとともに「言葉づかい」や相手を「〇〇さん」と呼ぶなど人権意識の高揚を図っていく。
- ・いじめの根絶に向け、いじめは絶対に許さないという決意を浸透させ、児童主体の集会を企画したり、共感的な教育相談を行ったりして、いじめの起きにくい環境をつくる。
- ・不登校傾向児童への対応は、担任だけでなく学校全体で共通理解を図り、組織的に対応していく。

【健康（保健安全・食育）・体力】

- ・新型コロナウイルスへの対応も来年度は変わってくるため、マスクの着用などは無くなってくるが、引き続き体調管理には十分注意をするよう指導にあたる。
- ・体力の低下が心配されるため、今年度に引き続き、授業内にてサーキットトレーニングなどを行い、体力の向上を図る。